

山梨県立図書館

令和8年1月23日（金）県立長野図書館  
「書店と図書館がつなく未来の読者 in 長野」  
「まちの本やさんと図書館が一緒にできること」

「やま読」の今とこれから  
～先行する連携事例に学ぶ～  
図書館・行政の立場から

山梨県立図書館  
総務企画課企画振興担当  
副主査 丸山直也  
(やまなし読書活動促進事業実行委員会 書記補佐)

山梨県立図書館

目次

01 自己紹介・図書館紹介

02 図書館・行政の立場から

03 山梨県の書店について

04 やま読の成果と展望

山梨県立図書館

①自己紹介  
図書館紹介

山梨県立図書館

01 自己紹介①

【職歴】  
2011年に山梨県に司書職として採用される。山梨県立図書館から高校図書館、県庁、県教育委員会へと異動。  
(2021年に教育委員会で初めてやま読の担当の一人に)  
2022年から県立図書館に戻り4年目。現在は図書館やま読担当。  
**実際にやま読に関わり始めたのは2021年からの新参者。**

【課外活動】  
●出版流通委員会委員（日本図書館協会）  
●市民と図書館の未来プロジェクトメンバー（日本図書館協会）

山梨県立図書館

01 自己紹介② 丸山の役職「書記補佐」とは？

やまなし読書活動促進事業実行委員会運営要領（2021.4施行版より）  
(組織)

第4条 実行委員会の委員は、やまなし読書活動促進事業の主旨に賛同する書店、出版社、県内の図書館、県教育委員会（所管課及び関係課）などをもって組織する。

- 実行委員会に役員として、委員長、副委員長、会計、副会計、書記及び監事を置く。
- 役員は委員の互選によって選出する。
- 実行委員会に委員以外の立場としてサポーターを置く。サポーターは実行委員会の目的に賛同する者とする。サポーターとなるに当たっては、委員の承認を必要とし、実行委員会にオブザーバーとして参加することができる。
- 役員及び委員及びサポーターの任期は原則として1年とする。ただし、再任を妨げない。

※「書記」について  
・書店・出版社、図書館（県立図書館）、県教育委員会（社会教育課）からそれぞれ選出  
・委員会の庶務、事務処理を行う  
(丸山はこの「書記」を「補佐」する役割)

山梨県立図書館

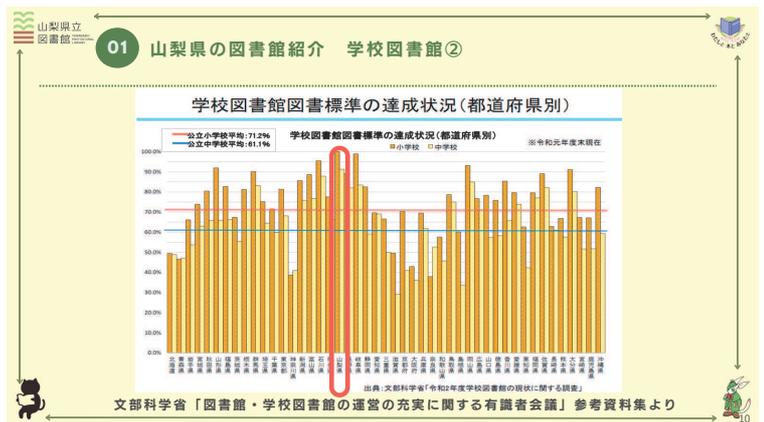
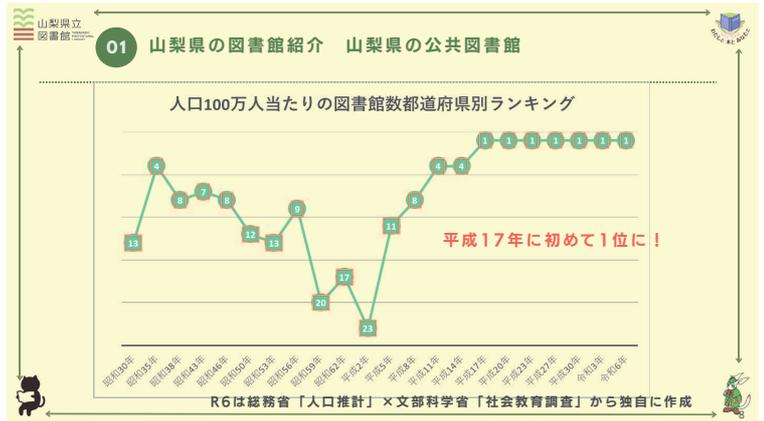
01 山梨県の図書館紹介 山梨県立図書館①

2012年4月  
作家・阿刀田高氏が山梨県立図書館館長に就任  
2018年～現在  
館長は言語学者の金田一秀穂氏

2012年（平成24年）11月11日（日）  
山梨県立図書館が、甲府市丸の内から甲府市北口に移転開館。すべての県民に親しまれ、県民とともに成長・発展していく「山梨県民図書館」の構築を目指す。

山梨県立図書館データ  
地下1階・地上4階  
総事業費52億円（総工事費37億円）  
延床面積：10,555㎡（旧館の2.5倍）  
収蔵能力：110万冊（旧館の3.7倍）  
★指定管理者制度導入（施設維持管理等）

「山梨県子ども読書支援センター」設置  
新システム導入（自動貸出機、電子書籍システム等）  
障害者サービス（代読サービス、録音図書郵送貸出）開始



## ② 図書館・行政の立場から

やま読はどのように始まり、どのように運営されてきたのか。  
図書館/行政の立場でやま読をどう見ているか

わたしの木とわたし

### 02 図書館・行政の立場から 事業の始まり①

#### 阿刀田館長就任時インタビュー

山梨日日新聞2012年(平成24年)02月20日(月)2面

— 図書館が地域に与える影響は。

「図書館が町の本屋をつぶす、という指摘があるが、これは必ずしも正しくない。～中略～本屋は大小それぞれあるがいずれも地域の文化機関。何も買わずに帰れる珍しい場所でもあり、本屋が駄目になるのは、地域の文化構造が駄目になること。山梨も、図書館と一緒に活性化していければ良い」

就任後の講演などで「読書の推進のため、本をプレゼントする日を設け、この習慣を山梨県に根付かせてはどうか、この取り組みを全国にモデルケースとして発信したい」という発言。館長自ら知事や教育長などの県幹部へも同様の提案。

→ 庁内で事業化に向けて本格的な検討を進める。

山梨県立図書館

## 02 図書館・行政の立場から 事業の始まり②

本を贈る＝本を買う→教育委員会としてかかわることができるのか

○文字・活字文化振興法（平成17年7月29日 施行）  
（地方公共団体の責務）  
第五条 地方公共団体は、基本理念のっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、文字・活字文化の振興に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。  
（関係機関等との連携強化）  
第六条 国及び地方公共団体は、文字・活字文化の振興に関する施策が円滑に実施されるよう、**図書館、教育機関その他の関係機関及び民間団体との連携**の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

○子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月12日 施行）  
（地方公共団体の責務）  
第四条 地方公共団体は、基本理念のっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

→2つの法律を事業の根拠として、社会教育としての読書促進事業を開始

第104回全国図書館大会 第18分科会記録  
『地域の読書をほりおこす』より（日本書籍出版協会図書館委員会）

山梨県立図書館

## 02 図書館・行政の立場から 実行委員会の変遷

※事業開始に先立ち、当時の県立図書館副館長をはじめとした図書館職員が市内複数書店やまちづくりのNPO、大学関係者などにヒアリングを実施。事業の趣旨を説明し、協力を仰ぐ。

2014年：県内すべての書店に参加を呼びかける。  
発足当時は7書店＋県立図書館＋社会教育課でスタート。

2015年：県外の出版社や取次関係の方が実行委員会に参加  
2016年：実行委員以外にサポーターという制度ができる。（オブザーバーの位置づけ）  
2017年：県庁学校所管課関係者、高校の司書が参加。  
2018年：サポーターが拡大（県外出版関係者が新たに多数サポーターに）  
**2021年：事務局を庁外に置くことに。（事務局機能をそれぞれが分担）**  
（副委員長、書記を書店、県立図書館、社会教育課から1名ずつ選出）  
市町村図書館、県内大学の教員や大学図書館関係者も新たに実行委員に。  
2022年：県内大学図書館サークルや実行委員会関係OB/OGがサポーターに。

→予算を削られ、事業の縮小を余儀なくされるなかで、形を変えながら事業を継続。  
→近年は国の書店振興が追い風に！

山梨県立図書館

## 03 図書館・行政の立場から 実行委員会の積み重ね

過去累計およそ97回開催！会議の運営は県社会教育課が担当。  
（開催通知の発出、会議室確保、会議資料の用意、議事録作成など）  
予算がないので誰にも謝金も、旅費も、お茶すら出ない！

H26	9月24日	10月27日	12月11日	1月27日	3月13日														
H27	5月12日	7月2日	7月31日	9月1日	10月16日	12月10日	3月2日												
H28	4月20日	5月25日	6月23日	8月24日	10月26日	12月21日	2月7日	3月14日											
H29	5月17日	7月11日	8月24日	10月24日	12月20日	2月7日	3月15日												
H30	4月27日	5月14日	6月20日	7月31日	8月22日	9月18日	10月10日	11月27日	12月19日	1月22日	2月8日	2月27日							
R1	4月23日	5月14日	6月14日	7月30日	8月21日	9月12日	10月10日	12月20日	1月29日	2月18日	(審判) 2月26日								
R2	5月15日	6月22日	7月30日	8月20日	9月15日	10月14日	11月12日	12月15日	1月27日	2月25日	3月9日								
R3	4月23日	5月7日	7月13日	9月14日	1月18日	2月25日													
R4	4月26日	5月27日	6月28日	9月2日	1月17日	2月21日													
R5	4月25日	6月27日	8月8日	11月13日	2月20日														
R6	4月23日	6月27日	7月16日	8月9日	9月6日	10月24日	11月11日	1月24日	2月20日										
R7	4月30日	5月20日	6月24日	8月6日	8月20日	9月12日	10月3日	10月16日	10月29日	12月12日									

太字は正規の実行委員会 赤字は委員会前に作業部会 緑字は作業部会

山梨県立図書館

## 02 図書館・行政の立場から 行政側の課題①

～事業の継続性～

○行政・図書館側の事業継承  
実行委員会において書店さんや出版者さんなどは継続して参加しているが、行政・図書館の職員は異動・配置転換により頻繁に入れ替わる。理解度のギャップが委員会では度々問題となる。途切れることのないように適切な引継ぎとOB/OGサポーターによるフォローアップ。  
→行政でやま読を経験して図書館に戻った私の役割。

○事業の検証と評価  
行政では事業継続のためには必ず成果が求められる。長期的に考えた時には圖書の貸出のような既存評価軸ではない、新たな評価方法の検討が必要になる。実施事業をどう検証し、どのように成果を示すのか。  
→事業のアーカイブの必要性。

山梨県立図書館

## 02 図書館・行政の立場から 行政側の課題②

～県としての事業範囲～

2025.10現在  
山梨県内で公共図書館がない自治体（6自治体）

2025.10現在  
山梨県内で書店がない自治体（7自治体）  
※日本出版インフラセンター共有書店マスタで検索

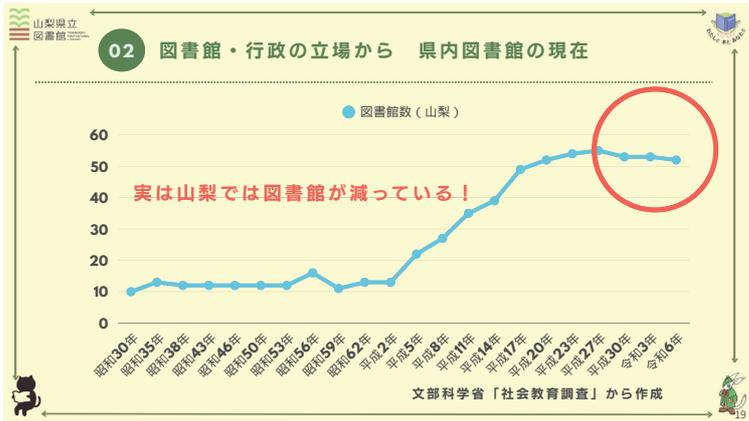
山梨県立図書館

## 02 図書館・行政の立場から 行政側の課題②-2

～地域も世代も拡大する～

○図書館・書店がない地域での新たな活動の展開  
県として取り組む事業であるため、遠隔地域も含め、県下全域での取り組みについては常に考えないといけない。特に書店や図書館がない地域では現状はやま読のアプローチも困難。全域において取り組めるような新たな活動も検討が必要。

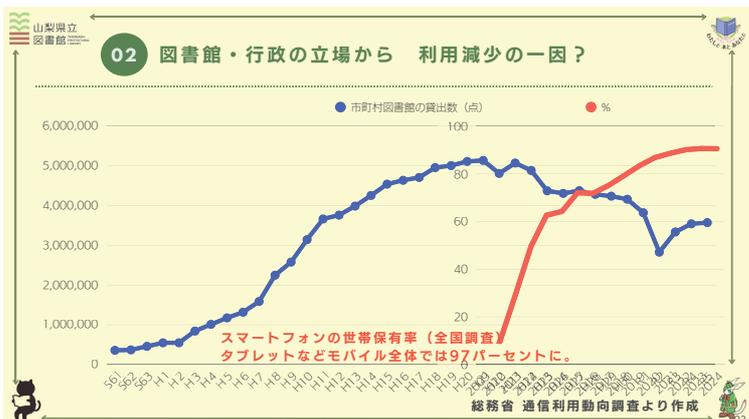
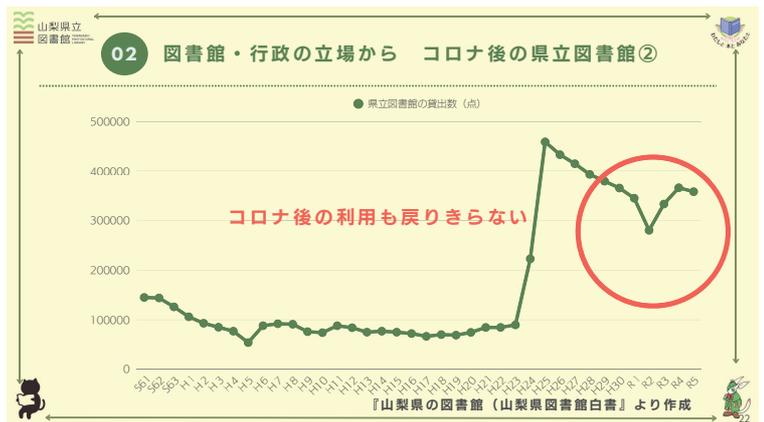
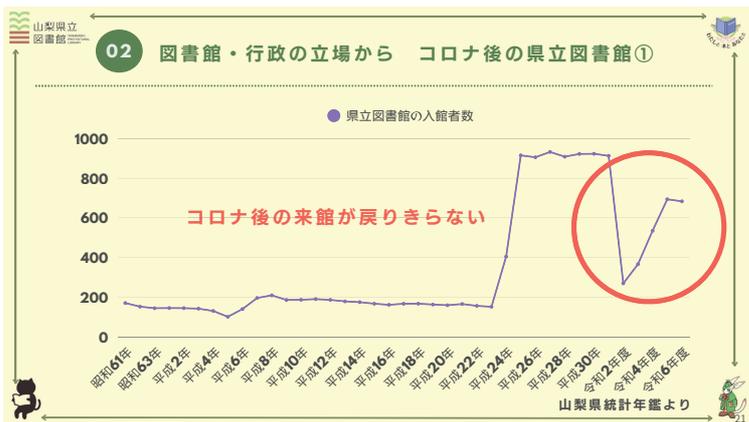
○より若い世代へと繋いでいくこと  
大学生の参画によって活動に新たな意義が出た。より若い世代にも、ピブリオバトル以外でも関われる事業展開が必要。実行委員の高齢化問題も。  
→学校図書館とも一層連携を！

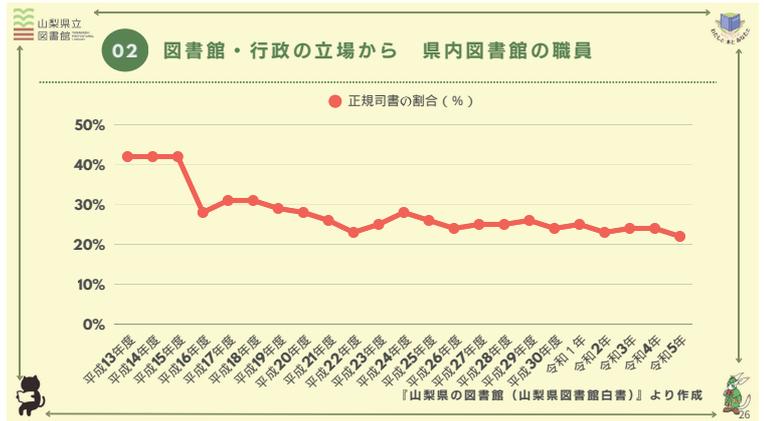
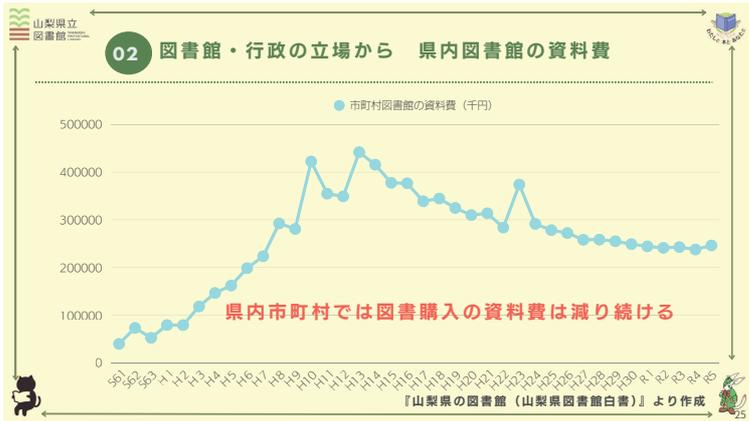


### 02 図書館・行政の立場から 図書館減少の一因

**公共施設等総合管理計画と個別施設計画（施設の長寿命化）**  
 総務省が自治体に対して計画の策定を求める。  
 「自治体全体の公共施設を中長期的な観点から計画的・総合的に管理すること」（庁舎・学校などすべての公共施設が対象）  
 長期的に使うにあたり、必要となる金額の試算。  
 施設老化→大規模修理・建て替え・耐震→多額の費用  
 自治体の財政悪化、人口減少、ニーズの変化  
 図書館の統廃合や閉館が検討される。

→でも図書館は利用されているから大丈夫なのでは？





### 02 図書館・行政の立場から 「書店さんのために」ではなく①

インターネット

オンラインデータベース

デジタルアーカイブ

電子書籍

GIGAスクール

生成AI?

図書館は紙の資料以外にも扱う多くのデジタル情報資源がある。急激な情報技術の進化に取り残されてはいけない。

今後図書館も司書も減少することが予想されるため、図書館単独で読書推進に割けるリソースはどんどん減っていくのでは。

**紙の本に触れる場所が図書館だけで良いのか？**

やま読と一緒に読書推進を進めていくことは書店のためではなく、自分たちのためでもあることを理解する。

### 02 図書館・行政の立場から 「書店さんのために」ではなく②

「図書館員の倫理綱領」（日本図書館協会1980.6.4総会決議）  
（文化の創造への寄与）

**第12 図書館員は、読者の立場に立って出版文化の発展に寄与するようつとめる。**

出版の自由は、単に資料・情報の送り手の自由を意味するのではなく、より根本的に受け手の知る自由に根ざしている。この意味で図書館は、読者の立場に立って、出版物の生産・流通の問題に積極的に対処する社会的役割と責任を持つ。また図書館員は、「図書館の自由に関する宣言」の堅持が、出版・新聞放送等の分野における表現の自由を守る活動と深い関係を持つことを自覚し、常に読者の立場に立ってこれら関連分野との協力につとめるべきである。

### 02 図書館・行政の立場から 「書店さんのために」ではなく③

**○相互に理解する機運の醸成**

一人ひとりが出版文化の担い手であるという意識の醸成。書店がなくなれば、出版社も成り立たず、本は作られなくなる。読者もいなくなり、古い本だけ集めた図書館は何ができる？

図書館は作家と本だけでなく、出版流通全体のプロセスに関心を深める。一方で書店や出版社には図書館の機能や役割を伝える。本に関わるステークホルダーみんなで現状に対する危機感を共有することにつなげていく。

相互理解の上と一緒にできる新たな活路が見いだせるのでは。

**→図書館関係者がより主体的に取り組めるような環境作りも**

### ③山梨県の書店について

やま読に関わる書店さんを外の視点から紹介する。  
やま読を経て、書店さんは何か変化はあったのか？

### 03 山梨県の書店について 歴史の深い甲府市内の書店さん

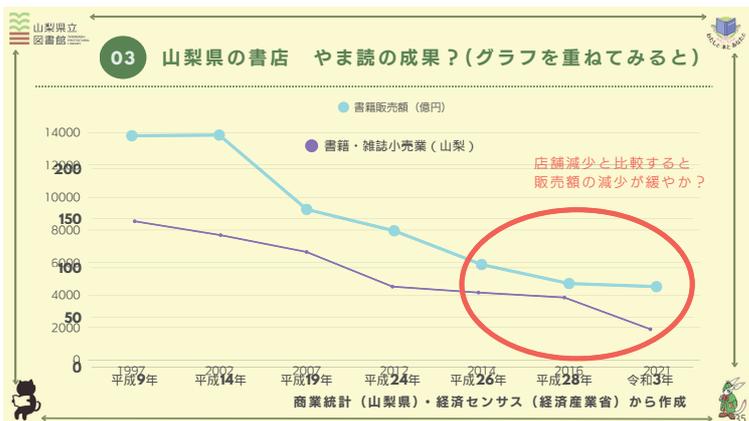
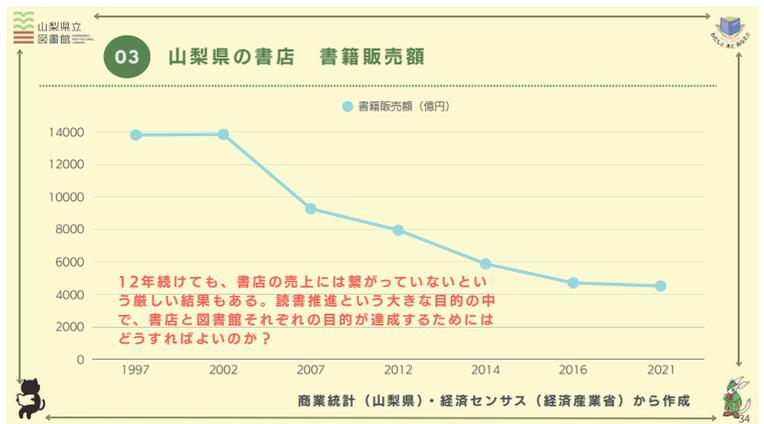
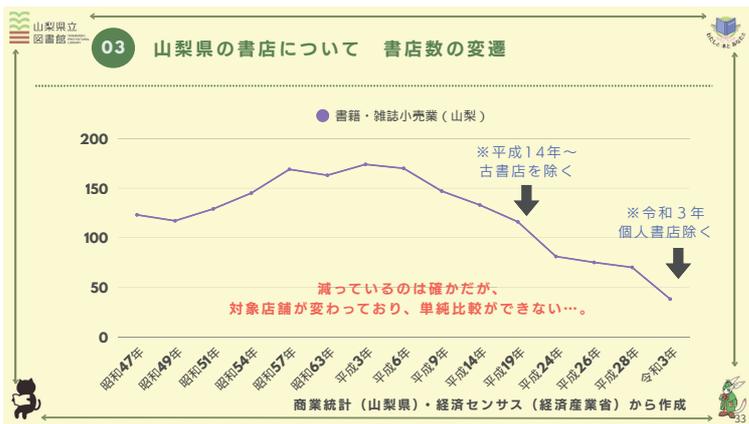
甲府市内には歴史のある書店さんが複数ある！  
(各書店HPより)

- 朗月堂さん 1902年(明治35年)
- 春光堂さん 1918年(大正7年)
- 柳正堂さん 1854年(嘉永7年)
- 徴古堂さん 1872年(明治5年)

みなさんやま読の関係者！

### 03 山梨県の書店について 実際にやま読で書店さんと関わって

- 書店さんそれぞれが個性豊か  
(POPや装飾がすごかったり、地域大学との連携を進めていたり)
- 事業に対する熱意  
(行政は仕事だが、書店さんたちは本を売る合間に活動している)
- 書店さん同士のつながりの強さ、仲の良さ  
(ライバルのはずだが、互いに尊重しあっている)
- 書店組合非加盟店や県外資本のチェーン店も事業に参加  
(地元以外だからと排除しない)
- 地元企業とのブックカバーコラボ企画の書店間での共有
- 店長のおすすめ本の展示と合わせて互いの書店を紹介しあう「店長の本だな」の実施 などなど新しい発見が…。



### 03 山梨県の書店について 別の調査でも書店数をチェック

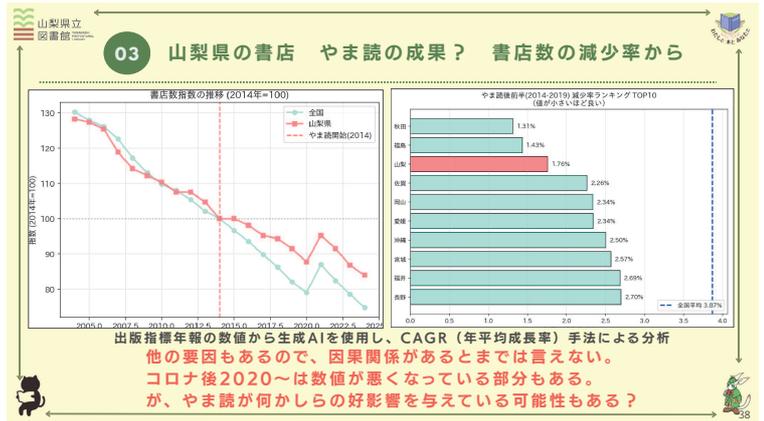
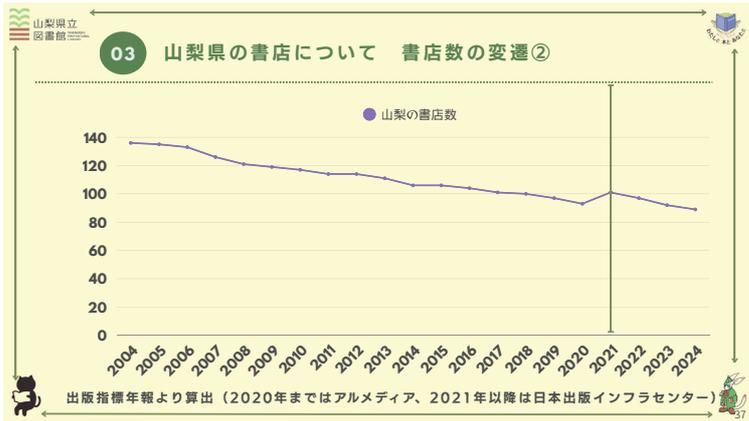
日本インフラセンター 共有書店マスタ 登録店舗数(山梨県)

『出版指標年報』(出版科学研究所)から作成

大学の生協やスーパーマーケット、病院など書籍を扱う箇所が広く含まれる。

一方で大手取次を使用しない独立系書店、と呼ばれる書店は含まれていない。

年度	店舗数	人口1万人当たりの店舗数	人口1万人当たりの店舗数 都道府県順位
2021	101	1.25	7
2022	97	1.19	7
2023	92	1.13	8
2024	89	1.1	7



## ④ やま読の成果と展望

目に見える成果はないかもしれない。  
 では12年続けてきたことに意味はなかった？  
 続けてきた成果と今後について。

### 04 やま読の成果と展望 目に見えない成果

- つながりができたことでひろがりがあった  
 →事業の外でのそれぞれの連携  
 (大学生×図書館、大学生×書店、公共図書館×書店)
- 相手を知る機会の創出と知ろうとする意識の向上  
 →図書館の研修に書店さんが受講者として参加  
 →図書館の研修にやま読書店を講師に呼ぶ  
 →書店さんの朝会で公共図書館、大学図書館関係者が発表
- 事業が広まることで理解者が生まれた  
 →外部イベントにやま読として関わる

**+ 書店さんの声 + 県民の声**

山梨県立図書館

04 やま読の成果と展望 目に見えない成果

【書店さんからの意見】

○行政と一緒にを行うことによる信頼性の獲得  
書店だけでは市町村図書館や学校図書館へのアプローチは難しかった。事業継続の折に何度も県のバックアップの重要性を訴えてきた。

○一人ではできないこともみんなだから取り組める  
小さな店舗ではイベントは難しいがやま読なら一緒に取り組むことができる。県外の出版社の方にも出会えた。やま読がなかったから店を辞めていたかも、といったお話もあった。

43

山梨県立図書館

04 やま読の成果と展望 目に見えない成果

【やま読ブックフェス参加者の声】

- 街中の書店がどんどん減っている昨今ですが、良い本を多くの方に知ってもらおうといろいろなことに取り組みられていることを知って感激しました。
- これ以上本屋さんが減らないように！たくさん利用したい。
- 書店はとても大切な施設なので、買い支えます。
- 書店の灯は消して欲しくはありません。
- 本屋さんには特定の本というよりもワクワクを探しに行っていた。好奇心を刺激してくれる場所であり続けてください。

→やま読を県民の皆さんにも知ってもらい、みんなで守っていく。

44

山梨県立図書館

04 やま読の成果と展望 話は少しそれますが

Qなぜ私に今回お声がかかったのか。

私がやま読ファン？オタク？推し？だからです！

○いつからやま読ファンに？  
書店は好きでよく利用していたが、仕事で書店と向き合うときは→敵対とかではなく、無関心。  
(県立図書館が急激に忙しくなりすぎて、外を気にする余裕もなく)

- ・やま読に県外からも色々な方が関わってくださっていることを知る。(やま読に対して誇りのようなものが生まれる)
- やま読のイベントでその方たちと交流する。(高校図書館に在籍時に館内を見学していただく機会)
- 書店、出版流通に興味を持つようになる。
- 教育委員会に異動になり推しが仕事に！

45

山梨県立図書館

04 やま読の成果と展望 推し活風景1

高校図書館時代から推し活スタート  
(やま読イベントに積極的に参加)



46

山梨県立図書館

04 やま読の成果と展望 推し活風景2

やま読ラリー  
毎年必ずコンプリート。最近では違う書店でスタンプを押してもらい、複数回のコンプリートをしている。

全国図書館大会(2018)  
第18分科会「地域の読書をほりおこす」にやま読関係者が登壇。丸山にとっては初めてやま読に直接触れる機会に。



うちわを作って参戦！

47

山梨県立図書館

04 やま読の成果と展望 推し活風景3



48

山梨県立図書館

04 やま読の成果と展望 これが一番言いたいこと！

私のやま読での実績は…

- ・全国図書館大会の動画制作・編集
- ・コロナ禍でのオンライン会議の整備
- ・やま読ラリー、やま読ブックフェアのウェブマップ作成
- ・学生サークルさんのサポーター加入の提案
- ・やま読紹介リーフレット作成の提案

偉そうに話していますが、実は大したことをやっていない…。

**一番の仕事→やま読の普及（布教）**

初めてやま読に関わる人たちにやま読の素晴らしさを紹介！  
→本日も布教活動の一環としてやってきました！

**やま読のファン＝“やま読関係人口”を増やす**

49

山梨県立図書館

04 やま読の成果と今後 ～最後に～

今回長野を始め、全国でこのような取り組みが進むのはとても嬉しい（阿刀田館長の願い）

やま読みたいになるには？→**やま読の強み＝継続してきたこと**

↓

やま読のイベントを単純にコピーしてもうまくはいかない。  
全国的に一律で効果のある対策はないのでは。  
地域にあった繋がり方→**是非長野でも継続した対話を！**

未来の読者のために、何ができるか一緒に考えましょう！

50

山梨県立図書館

04 やま読の成果と今後 ～PRタイム～

↑やま読Facebook  
↓やま読 x (エックス)

各種SNSもフォローを  
よろしくお願ひします！！

↑県立 x (エックス)  
↓県立Facebook

ご清聴  
ありがとうございました

やま読ちゃん《やまなし読活活動推進事業》公式アカウント  
やま読の活動をお知らせいたします！

49